

2016年3月期 第3四半期
(2015年4月1日～2015年12月31日)
決算ご説明資料

決算発表日：2016年2月3日
IDEC株式会社
代表取締役会長兼社長 船木俊之
証券コード：6652



<http://jp.idec.com>

| | | |
|---------------------|------------------|---------|
| ■ 1. 2016年3月期 第3四半期 | 連結業績概要 | |
| ■ 1.1 | 連結決算のポイント | P.3 |
| ■ 1.2 | 連結業績概要 <連結損益計算書> | P.4-6 |
| ■ 1.3 | 製品別・地域別売上状況 | P.7-12 |
| ■ 1.4 | 連結業績概要 <連結貸借対照表> | P.13 |
| ■ 1.5 | 連結業績概要 <連結CF計算書> | P.14 |
| ■ 2. 2016年3月期 通期 | 連結業績予想 | |
| ■ 2.1 | 2016年3月期 連結業績予想 | P.16-17 |
| ■ 2.2 | 2016年3月期 配当状況 | P.18 |
| ■ 2.3 | 2016年3月期 事業方針 | P.19 |
| ■ 2.4 | IDECの歴史 | P.20 |
| ■ 3. ご注意 | ご参考資料 | |
| ■ 3.1 | 売上高・営業利益率 四半期推移 | P.22 |
| ■ 3.2 | 地域別売上高 四半期推移 | P.23 |
| ■ 3.3 | 業界の動向 | P.24 |

1. 2016年3月期 第3四半期 連結業績概要



| | |
|----|--|
| 売上 | <p>■ 売上高 331億円（前年同期比 +4.4%）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 中国の景気減速の影響はあるものの、日本を中心に安全関連機器製品など、主力の制御機器製品が堅調に推移 - 日本において自動認識機器製品が伸長 - 前期に連結子会社化したコーネットの売上が貢献 |
| | <p>■ 営業利益 23億円（前年同期比 +9.8%）</p> <p>■ 純利益<small>（親会社株主に帰属する四半期純利益）</small> 16億円（前年同期比 +1.2%）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 増収効果などにより営業利益は前年同期比2億円増加 |

2016年3月期 第3四半期累計 業績概要

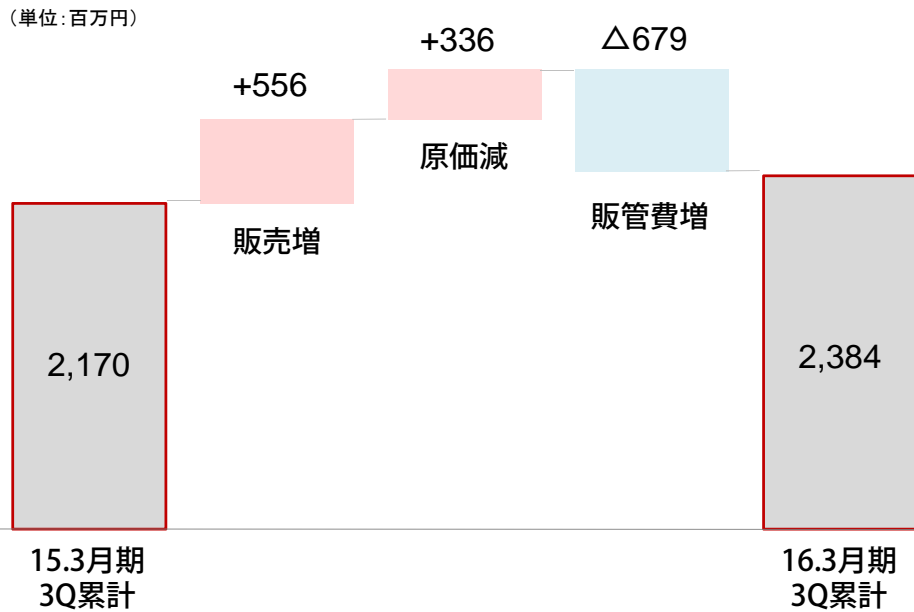
売上高 331億 0千 5百万円（前年同期比+4.4%）
 営業利益 23億 8千 4百万円（前年同期比+9.8%）

| (単位：百万円) | 16.3月期 3Q累計 | | | 15.3月期 3Q累計 | |
|--------------------------|-------------|--------|---------|-------------|--------|
| | 実績 | 対売上比 | 前年同期比 | 実績 | 対売上比 |
| 売上高 | 33,105 | 100.0% | +4.4% | 31,712 | 100.0% |
| 売上総利益 | 13,552 | 40.9% | +7.1% | 12,659 | 39.9% |
| 販売費及び一般管理費 | 11,168 | 33.7% | +6.5% | 10,489 | 33.1% |
| 営業利益 | 2,384 | 7.2% | +9.8% | 2,170 | 6.8% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 1,655 | 5.0% | +1.2% | 1,635 | 5.2% |
| 1株当たり四半期純利益 (潜在株式調整前) | 54.74円 | - | +0.52円 | 54.22円 | - |
| USDレート(円) | 121.75円 | | +15.02円 | 106.73円 | - |

1.2 連結営業損益変動要因

Think Automation and beyond...

研究開発費の増加や為替の影響などにより販管費が増加したものの、増収効果もあり営業利益は前年同期比で2億円増加。



1.2 連結業績概要<連結損益計算書>-2

Think Automation and beyond...

2016年3月期 第3四半期 業績概要

前年同期比で増収増益を達成。

| (単位:百万円) | 15.3月期 | | | | 16.3月期 | | | | | |
|--------------------------|--------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|--------------|--------|
| | 3Q (10月~12月) | | 4Q (1月~3月) | | 1Q (4月~6月) | | 2Q (7月~9月) | | 3Q (10月~12月) | |
| | 実績 | 対売上比 | 実績 | 対売上比 | 実績 | 対売上比 | 実績 | 対売上比 | 実績 | 対売上比 |
| 売上高 | 10,681 | 100.0% | 10,461 | 100.0% | 10,492 | 100.0% | 11,169 | 100.0% | 11,443 | 100.0% |
| 売上総利益 | 4,336 | 40.6% | 4,457 | 42.6% | 4,224 | 40.3% | 4,740 | 42.4% | 4,588 | 40.1% |
| 販売費及び一般管理費 | 3,585 | 33.6% | 3,718 | 35.5% | 3,542 | 33.8% | 3,855 | 34.5% | 3,770 | 32.9% |
| 営業利益 | 750 | 7.0% | 739 | 7.1% | 681 | 6.5% | 884 | 7.9% | 817 | 7.1% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 606 | 5.7% | 460 | 4.4% | 508 | 4.9% | 514 | 4.6% | 631 | 5.5% |
| 1株当たり四半期純利益 (潜在株式調整前) | 20.07円 | | 15.23円 | | 16.84円 | | 17.03円 | | 20.88円 | |

製品別売上状況

| (単位：百万円) | 16.3月期 3Q累計 | 15.3月期 3Q累計 | 前年 同期比 |
|---------------------|----------------|----------------|-----------|
| 制御機器製品 | 18,078 | 16,745 | +8.0% |
| 制御装置および FAシステム製品 | 4,547 | 4,565 | △0.4% |
| 制御用周辺機器製品 | 3,986 | 3,899 | +2.2% |
| 防爆・防災関連機器製品 | 1,152 | 1,111 | +3.7% |
| その他の製品 | 5,339 | 5,390 | △0.9% |
| 合計 | 33,105 | 31,712 | +4.4% |

制御機器製品

非常停止用押ボタンスイッチなど、主力の制御用操作スイッチや安全関連機器製品の売上が伸長。

制御装置およびFAシステム製品

自動認識機器製品は伸長したものの、プログラマブルコントローラなどの売上が減少。

制御用周辺機器製品

スイッチング電源などの売上が伸長。

防爆・防災関連機器製品

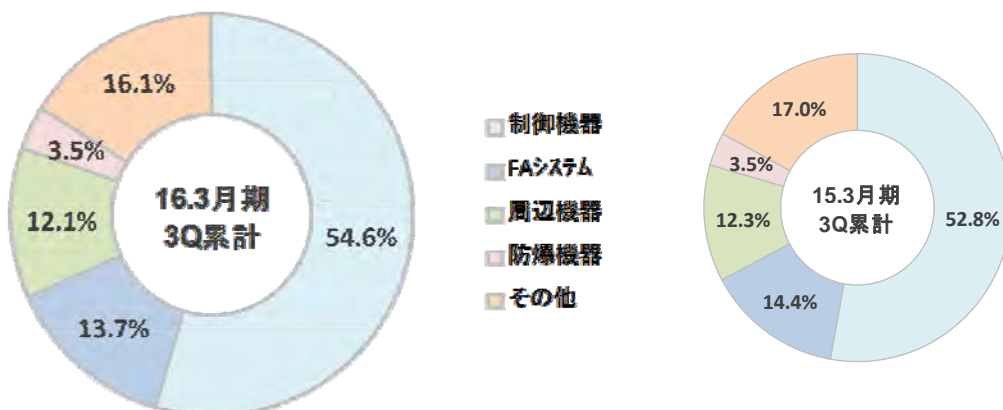
防爆用LED照明や防爆形操作盤などの売上が堅調に推移。

その他の製品

太陽光発電関連事業は好調だったものの、環境関連事業全体としてはほぼ横ばい。

製品別売上高構成比

安全関連機器製品など主力の制御機器製品の売上比率が上昇。
一方で、プログラマブルコントローラの減少などにより、制御装置およびFAシステム製品の比率は減少。



地域別売上状況

| (単位：百万円) | 16.3月期 3Q累計 | 15.3月期 3Q累計 | 前年 同期比 |
|----------------|----------------|----------------|-----------|
| 日 本 | 20,772 | 19,858 | +4.6% |
| 北 米 | 4,489 | 4,167 | +7.7% |
| 欧 州 | 1,454 | 1,358 | +7.0% |
| アジア・ パシフィック | 6,296 | 6,230 | +1.1% |
| 合 計 | 33,105 | 31,712 | +4.4% |

※その他の地域の数値は除く

国内 前年同期比 +4.6%

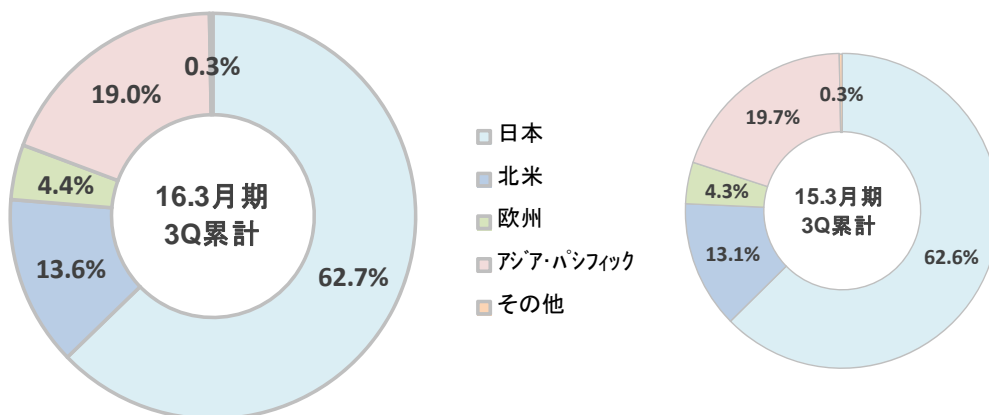
- 安全関連機器などの制御機器製品に加え、自動認識機器製品や、太陽光発電関連事業の売上が伸長。

海外 前年同期比 +4.0%

- 北米や欧州において、制御用操作スイッチや安全関連機器など主力の制御機器製品の売上が伸長。
- 中国は景気減速により伸び率が鈍化

地域別売上高構成比

制御機器製品などの売上増にともない北米の売上比率が上昇した一方、中国の景気減速の影響もありアジア・パシフィック地域は減少。



製品群

| 制御機器製品 | | 制御装置およびFAシステム製品 | | 制御用周辺機器製品 | 防爆・防災関連機器製品 |
|---|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |  |
| 制御用操作スイッチ | 制御用リレー | プログラマブルコントローラ | プログラマブル表示器 | スイッチング電源 | タッチスイッチ付防爆表示器 |
|  |  |  | |  |  |
| 安全関連機器 | 産業用LED照明 | 自動認識機器 | | 端子台 | 防爆形操作盤 |
| その他の製品 | | (環境エネルギー関連) | | (セキュリティ関連製品) | |
|  |  |  |  |  | |
| パワーコンディショナ | メガソーラー | 施設用LED照明 | 微細気泡生成装置 | 図書館盗難防止システム | |

2016年3月期 第3四半期（10-12月）の主なトピックス

IoT (Internet of Things) を実現する新製品を発売

近年「モノのインターネット」とも呼ばれるIoTを実現するため、製造機械や各種装置などの状態を、現場から離れた遠隔地から把握したいという要望が高まっています。そういった要望にお応えするため、Webサーバー機能を備え、遠隔監視・遠隔操作などのIoTを実現する「FL1F形」スマートリレーと、「FC6A形」プログラマブルコントローラを相次いで発売しました。これらの製品を制御盤や工作機械、食品加工機械などに組み込むことで、現場から離れた場所でもインターネットを通じて操作・監視することが可能となり、生産状況の分析や予知保全などに活かすことができます。



プログラマブルコントローラ「FC6A形」



スマートリレー「FL1F形」

省スペース、低消費電力、長寿命の本質安全防爆構造の絶縁バリアを発売

本質安全防爆構造アナログ入力用絶縁バリア「D5014形」を発売しました。本質安全防爆構造の計測機器で、4-20mAアナログ信号伝送用に使用できる絶縁式バリアとなっており、長寿命で高い信頼性を実現しました。爆発性雰囲気での安全計装システムの実現に貢献します。



絶縁バリア「D5014形」

1.4 連結業績概要 <連結貸借対照表>

Think Automation and beyond...

2016年3月期 第3四半期 連結貸借対照表概要

■ 資産のポイント

棚卸資産や有形固定資産が減少した一方で、受取手形及び売掛金などが増加したことなどにより、総資産は前期末比約11億円増加。

■ 負債のポイント

借入金が減少した一方で、前受金や仕入債務が増加したことなどにより、負債は前期末比約8億円増加。

■ 純資産のポイント

為替換算調整勘定が減少した一方で、利益剰余金が増加したことなどにより、純資産は前期末比約3億円増加。

(単位：百万円)

| 科目 | 16.3月期 第3四半期末 | 15.3月期末 (前会計年度末) | 前会計年度末比 増減 |
|------|------------------|---------------------|---------------|
| 流動資産 | 27,530 | 26,212 | +1,318 |
| 固定資産 | 22,944 | 23,165 | △221 |
| 流動負債 | 16,277 | 15,345 | +932 |
| 固定負債 | 1,509 | 1,687 | △177 |
| 純資産 | 32,686 | 32,345 | +340 |
| 総資産 | 50,474 | 49,378 | +1,096 |

1.5 連結業績概要 <連結CF計算書>

Think Automation and beyond...

2016年3月期 第3四半期 連結キャッシュ・フロー計算書概要

■ 営業活動によるCF

太陽光関連ビジネスの推進により前受金が増加したことや、税金等調整前四半期純利益の計上などにより+20億円。

■ 投資活動によるCF

主に、固定資産の取得などにより△1億円。

■ 財務活動によるCF

主に、借入金の返済や配当金の支払いなどにより△12億円。

(単位：百万円)

| | 16.3月期 3Q累計 | 15.3月期 3Q累計 | 前年同期比増減 |
|---------------------|-------------|-------------|---------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,260 | 1,254 | +2,005 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △976 | △879 | △96 |
| フリー・キャッシュ・フロー (FCF) | 2,283 | 374 | +1,909 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,031 | △824 | △1,206 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 8,157 | 7,714 | +443 |
| 設備投資額 | 1,126 | 1,062 | +64 |
| 減価償却費 | 1,127 | 1,222 | △95 |

2. 2016年3月期 通期 連結業績予想



15

2.1 2016年3月期 連結業績予想

Think Automation and beyond...

売上高 440億円 (前期比+ 4.3%)
営業利益 35億円 (前期比+20.3%)

| (単位：百万円) | 16.3月期 | | | | 15.3月期 | | |
|-------------------------|---------|---------|--------|--------|---------|---------|--------|
| | 3Q累計 | 通期 | | | 3Q累計 | 通期 | |
| | 実績 | 予想 | 対売上比 | 前期比 | 実績 | 実績 | 対売上比 |
| 売上高 | 33,105 | 44,000 | 100.0% | +4.3% | 31,712 | 42,173 | 100.0% |
| 売上総利益 | 13,552 | 18,500 | 42.0% | +8.1% | 12,659 | 17,117 | 40.6% |
| 販売費及び一般管理費 | 11,168 | 15,000 | 34.1% | +5.6% | 10,489 | 14,207 | 33.7% |
| 営業利益 | 2,384 | 3,500 | 8.0% | +20.3% | 2,170 | 2,910 | 6.9% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,655 | 2,250 | 5.1% | +7.3% | 1,635 | 2,096 | 5.0% |
| 1株当たり当期純利益 (潜在株式調整前) | 54.74円 | 74.43円 | — | +4.98円 | 54.22円 | 69.45円 | — |
| USDレート(円) | 121.75円 | 115.00円 | | | 106.73円 | 109.77円 | |

2.1 2016年3月期 連結業績予想

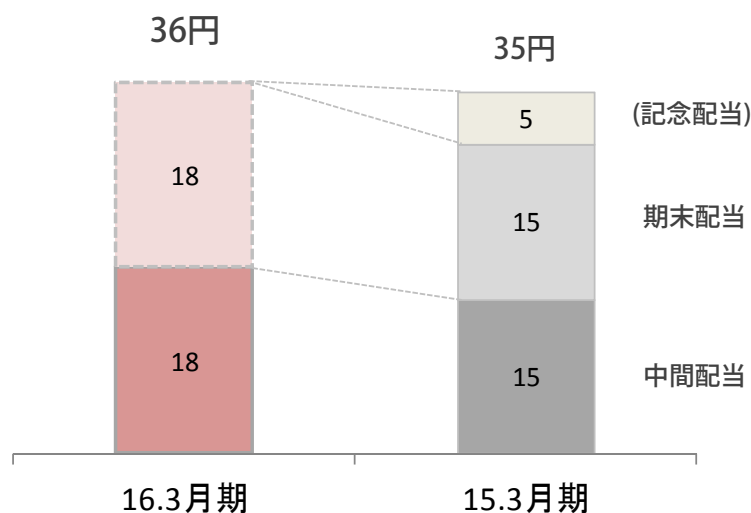
Think Automation and beyond...

| (単位：百万円) | 16.3月期 | | 15.3月期 | |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|
| | 3Q累計実績 | 通期予想 | 3Q累計実績 | 通期実績 |
| 制御機器製品 | 18,078 | 23,700 | 16,745 | 22,572 |
| 制御装置およびFAシステム製品 | 4,547 | 6,700 | 4,565 | 6,162 |
| 制御用周辺機器製品 | 3,986 | 5,300 | 3,899 | 5,206 |
| 防爆・防災関連機器製品 | 1,152 | 1,650 | 1,111 | 1,605 |
| その他の製品 | 5,339 | 6,650 | 5,390 | 6,627 |
| 合 計 | 33,105 | 44,000 | 31,712 | 42,173 |
| 国内売上高 | 20,772 | 27,100 | 19,858 | 26,529 |
| 海外売上高 | 12,332 | 16,900 | 11,853 | 15,644 |
| (海外比率) | (37.3%) | (38.4%) | (37.4%) | (37.1%) |

2.2 2016年3月期 配当の状況

Think Automation and beyond...

1株当たり中間配当金は18円（前年同期比3円増配）。
 1株当たり年間配当金は36円（記念配当を除くと前期比6円増配）を予想。
 配当性向は48.4%（前期は50.4%）を予想。



■ 既存事業の収益性の向上・海外売上拡大

既存事業分野においては、顧客ニーズに基づく制御ソリューション展開を強化し、差別化によるシェア拡大、収益性向上を図っています。
海外市場においては、中国のソフトウェア開発会社の顧客対応力強化に取り組んでいるほか、タイでの生産、販売拠点の本格稼働を推進しています。



IDEC ASIA (THAILAND)

制御ソリューション事業強化

中国事業体制の強化

東南アジア市場開拓

■ 環境・エネルギー分野を中心とした新規事業拡大

新規事業分野では、太陽光発電関連の事業拡大に取り組んでおりますが、今後はより多様化した再生可能エネルギーの活用を目指し、HEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）などのソリューションの提供も強化していきます。
また、自動認識機器市場での事業拡大に向けて、制御機器で培った技術を活かした自社製品の開発を行うなど、設計から販売まで一貫した体制で事業を拡大していきます。



HEMS
コントローラ

自動認識機器事業の拡大

環境・エネルギー事業の強化

農業ビジネスの本格展開

2.4 IDECの歴史

IDECは2015年11月に創業70周年を迎えました。

創業、そして制御機器の総合メーカーへ

1945年に和泉商会を創業し、1947年にはヒット製品となる金属箱開閉器の発売を開始しました。
1950年代からは制御用操作スイッチや表示灯、端子台などの生産販売を開始し、制御機器の総合メーカーへと転換を図りました。



創業時の社屋と金属箱開閉器



ヒット製品となった
制御用操作スイッチ

海外進出、株式の上場

1970年代から海外生産拠点や販売拠点の展開を進め、グローバル化を図りました。
1982年には大阪証券取引所市場第2部に株式を上場し、1990年に東京証券取引所、大阪証券取引所の市場第1部に指定替えとなりました。



初海外拠点となる台湾和泉精機

和泉電気からIDECに



Think Automation and beyond...

創業60周年を迎えた2005年に、社名をIDEC株式会社へと変更し、コーポレートシンボルマークも一新しました。

70th
anniversary

100周年を目指して



植物工場



メガソーラー



2013年に完成した本社

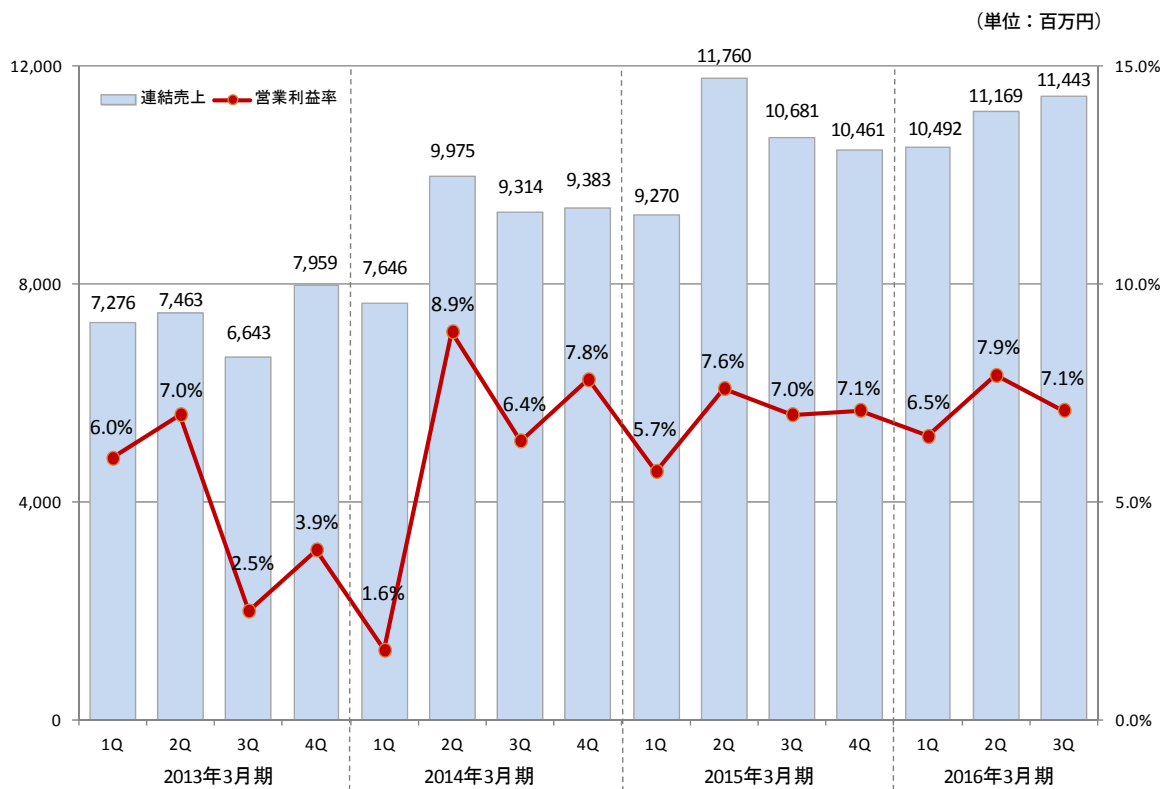
2015年11月に創業70周年を迎えました。
IDECはこれからもオートメーションを考え、さらにその先へ・・・、ものづくりの未来を創造していきます。

3. ご参考資料



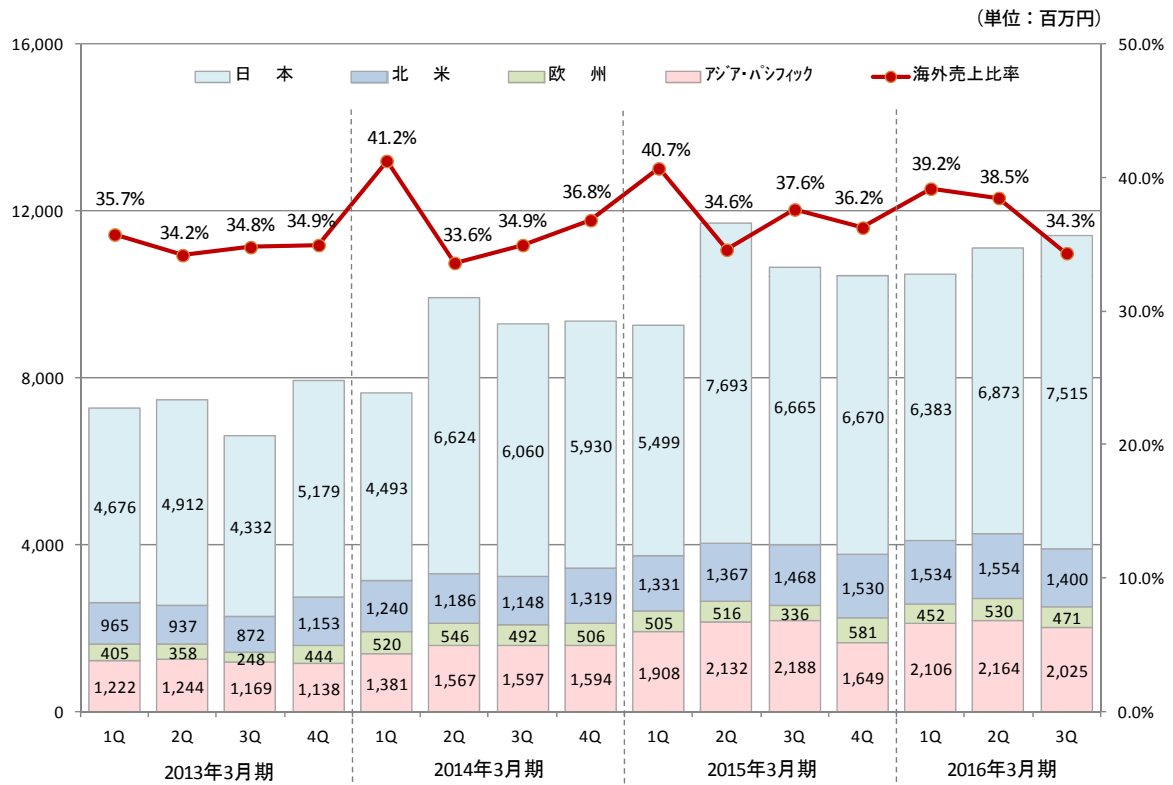
3.1 売上高・営業利益率 四半期推移

Think Automation and beyond...



3.2 地域別売上高 四半期推移

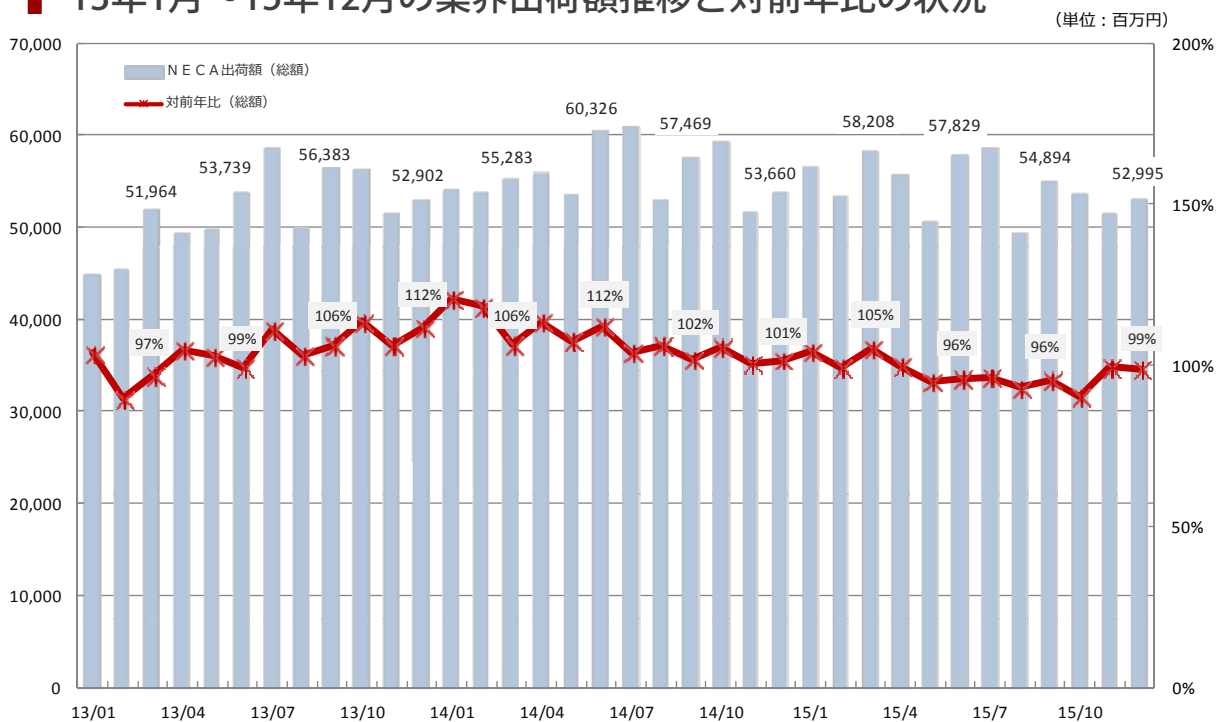
Think Automation and beyond...



3.3 業界の動向 (日本電気制御機器工業会(NECA)出荷データ推移)

Think Automation and beyond...

13年1月～15年12月の業界出荷額推移と対前年比の状況



※ NECA(日本電気制御機器工業会)の統計データによる。

※ 制御機器の業界団体であるNECAには、大手ではIDEC以外に、オムロン(株)、パナソニック(株)、アズビル(株)、富士電機機器制御(株)などが参加しており、NECAの統計は、それら企業の出荷実績をもとに集計されています。NECAにおける制御機器業界の市場規模は、約7.0千億円(年間)程度となっています。

この資料には一部当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。従いまして、実際の業績などは、今後さまざまな要因によって計画、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

IDEC株式会社
経営管理部 経営企画グループ
TEL : 06-6398-2550
FAX : 06-6398-2587
E-mail : y.ogawa@jp.idec.com

